

## ✦ ガバナーメッセージ

### クラブと地区の関係を考える



国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之

我が地区では、地区リーダーシップ・プラン(DLP)が1997年より導入され、またクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)は、推奨されて3年経過しようとしています。この間、地区はDLPの強化を図り、また、クラブは自らに相応しい「マイCLP」の採用に、工夫と努力を重ねてきました。

このDLPとCLPとの関係で、クラブを強化するには地区とクラブはどのような関係を作り出さなければならないか、が今日のクラブと地区双方の重要な課題であると認識しております。

クラブと地区の基本的なあり方として、ロータリー章典(17.010.1)に「…ロータリー地区の活動並びにその組織は、個々のロータリー・クラブがロータリーの綱領を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、ロータリー・クラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を減殺するようなことがあってはならない」とあります。

最近の我が地区は、組織と財務の両面にわたり、肥大化傾向にあります。会員数が減少しているのにも関わらず、委員会数、委員数が増加しています。一方、委員会活動は年々拡大し、それに伴い地区予算総額が拡大しています。ロータリーが「Doing Good in the World (世界で良いことをしよう)」とする人の集まりですから、活動すればするほど資金が必要になることは自然な流れです。しかし、あればあるほど使ってしまうという傾向も否定できません。これではクラブも地区も立ち行かなくなります。

今、ここで双方が知恵を出し、見直すことが重要と考えます。それには、クラブと地区の関係を基本に戻すことです。つまり、奉仕活動の主体は会員とクラブであり、クラブは地区からの指令や指示で活動するのではなく、地区はクラブの独自性と自主性を尊重し、クラブ支援に徹することです。具体的には、地区の活動が、クラブと遊

離、乖離していないか、どちらが活動主体であるか解らない状況になっていないかを見直すことです。クラブは「良質なクラブ自治権」の下に、クラブ運営と奉仕活動の両面にわたり独自性を発揮し、自主的な活動を推進することです。そのための必要・前提条件が、委員会組織を簡素化し、運営・活動資金(財務)を透明・適正化することであると考えます。またクラブと地区がこの一年間、意見交換を重ね、お互いに刺激し合うことが大切と考えます。

以上の考え方をどこまで現実的なものにするか。この1年間、ガバナー訪問始め、地区活動のあらゆる機会を通じ努力致します。ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。

尚、CLPに対応した地区組織の簡素化については、ホームページに掲載致しましたので、それを参照下さい。今後見直しも必要ですので、忌憚ないご意見をお待ちしています。

また、地区運営・活動資金の透明・適正化については、国際ロータリー細則第15条にある15.060.「地区財務」が基本となりますが、クラブと会員の金銭的な負担を軽減し、自主的な活動を支援するという基本的な考えから、まず地区資金としての会員一人当たりの拠出金を、13,500円に軽減したことにより、地区活動費は、例外なく、すべての活動を賄うものでない「活動補助金」とし、これまでの活動を見直すことを前提に、「支出CAP」をあえて取行しました。加えて、地区資金の透明性を確保するため、クラブより登録料等を徴収した個々の会議、セミナー等については、原則3ヶ月以内にクラブに対し収支報告をすることとしました。そして今年度より地区監査委員会を設置し、地区財務を身近なものにするために、従来地区大会で行っていた年次財務表及び報告書の決議を、RI細則15.060.4に従い、11月26日クラブ代表会議を開催し決議することにしました。

## GML INDEX

✦ ガバナーメッセージ

✦ 2008-09年度 国際ロータリー会長 李 東 建

✦ 文庫通信／寄付報告／物故

✦ 出席報告／編集後記

<http://www.ri2750.org/>

## ✦ ガバナーからのお知らせ

新たな試みとして、ガバナー月信を会長・幹事、事務局のみの配布といたしました。今後、会員の皆さまはホームページをご覧ください。クラブ内の親睦・相互扶助の契機となることを期待します。

「ガバナー公式訪問の日程表」「地区役員の写真紹介」「第2750地区組織図・その解説」「グアム地区大会案内」もホームページをご覧ください。

## ガバナーメッセージの英語訳

### **Think of the relationship among the District and the Clubs**

District Leadership Plan(DLP) was introduced into our District in 1997 and the Club Leadership Plan(CLP) has been recommended and passed for three years. Since then the District has strengthened DLP and each club on the District has found a way and tried to implement his own CLP, called My CLP.

On a relationship between the DLP & the CLP we recognize the important issue that makes the relationship how the District establishes the relationships for the club so that the District makes the club strengthen.

17.010.1. Role of the District on the Rotary Code of Policies is saying 'The activities and organization of a Rotary district shall exist solely to help the individual club advance the Object of Rotary and should not tend to diminish services provided by clubs and individual Rotarians on the local level.'

The organizational and financial volume on our District has been recently expanded. On the one side, although the number of members on the District has been getting decreased, the number of the committees and the committee members are increased. On the other hand, the number of the committee activities has been expanded year after year and the amount of the district budget is increased by them.

The rotary is a party that makes s 'Doing Good in the World', so it is natural that the more activities have been achieved, the more fund of these activities are needed.

But it is not to be denied that the budget is tended to be spent as much as we have, that makes the District fell into the financial shortage.

Now it is important for us that we start thinking about it and taking a hard look at it together. Therefore the relationship among the District and each club is to restore to the basics. That is to say, the service activities are mainly involved in the rotary members and the club and the club does not work for ordering and directing by the District and the District respects the club's independencies and self-disciplines and puts all their hearts into supporting their activities.

The District specifically reviews that the District's activity is out of touch with and isolation from the club and is hard to recognize which leads these activities both.

Each club has to demonstrate his identity and promote his activities with the self-disciplined over both of the club promotion and the service activity under a better quality of the club autonomous rights. The prerequisite conditions to achieve it are to simplify the Committee organization, and clarify and plan the rights of the financial managerial resources. And we need to exchange our opinions and views among us and have mutual motivation each other for these one year.

I as a Governor have to my best to make the above opinions real for this year through the Governor official visit and the District activities.

Please give your hearty corporations and supports to me.

The simplicity of the CLP organization on the District specifies at the District Home Page and be referred it. These information will be revised any time, so please give your opinions without restraint.

Simplifying and clarifying a District management and activity funds are based on the '15.060.1 District Fund' on Chapter 15 of the Bylaws of Rotary International on the Manual of Procedure.

From a fundamental view that makes a financial burden of the club and these members reduced and support their voluntary activities, The per capita levy for one club member on one club makes 13,500 yen and the district activity fund is a activity grant without exception that does not cover all of the activities for them the and Expense CAP carries out on the premise that the past activities are reviewed.

The balance report is submitted to the club members within three months after each meeting, seminar, etc held by

levying from the club member so that the district fund is clarified.

The district auditing committee is established from this year on and the annual financial report and the related reports are resolved according to 15.060.1 on the Bylaw of RI International of Manual of Procedure at the time when the club representative meeting is held on November 26<sup>th</sup> so that the district fund is familiar with all of the club members.

The Bylaws of Rotary International

## 2008-09 年度 国際ロータリー会長 李 東建

**2008-09 年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに、地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていきたいのです。**



ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09 年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものです。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といえます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合っ、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は2008-09年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること…、これは(今現在)多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」して下さるようお願いいたします。

そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注ぎてきました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり6,000人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができるのです。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。

そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

次ページへ文章続く▶



### 前ページより

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらん限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。

*D. K. Lee*

2008-09年度 国際ロータリー会長

※RI会長のプロフィールについては、「ロータリーの友」をご参照下さい。

### 米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	恵志 章夫君	東京南	2008.5.2	1
	和田 剛二君	東京南	2008.5.2	4
	山内 豊功君	東京南	2008.5.2	4
	御手洗 美智子君	東京広尾	2008.5.13	5
	伊藤 嘉章君	東京三鷹	2008.5.14	2
	志村 光明君	東京多摩	2008.5.14	8
	大竹 恵生君	東京田園調布緑	2008.5.26	2

### ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル  
ご協力を感謝致します

	肥塚 照樹君	東京築地	2008.4.25
◎	早川 信義君	東京成城	2008.4.25
◎	大山 利雄君	東京世田谷南	2008.4.25
◎	福原 秀美君	東京みなと	2008.5.9
	細野 征男君	東京みなと	2008.5.9
◎	川端 庄造君	東京みなと	2008.5.9
	前山 淳次君	東京みなと	2008.5.9
◎	岡田 恭彦君	東京みなと	2008.5.9
	小澤 哲郎君	東京みなと	2008.5.9
	清水 亮君	東京みなと	2008.5.9
◎	相馬 耕三君	東京みなと	2008.5.9
	渡辺 俊之君	東京みなと	2008.5.9
	吉田 茂君	東京みなと	2008.5.9
	細見 洋正君	東京高輪	2008.5.9
	井口 靖之君	東京成城新	2008.5.9
	倉島 君夫君	東京国分寺	2008.5.16
◎	谷 静子君	東京恵比寿	2008.5.30

### 新ベネファクターご紹介

穂坂 有三君	東京自由ヶ丘	2008.5.9
--------	--------	----------

### 文庫通信 (249号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたしております。

#### ☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。

お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

#### ▶ 文庫資料をご希望の場合は

- ・ 発送先に在庫にある資料については、発行先ご紹介致します。
- ・ 絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。一部PDFで閲覧できます。
- ・ 重複資料をご希望により無料進呈致します。
- ・ ビデオテープは有料でダビングを致します。

#### ▶ 貸出し

- ・ 視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

#### ▶ 登録資料の紹介

- ・ 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてしますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・ 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・ 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

#### ▶ ご寄贈

- ・ 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

### 深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



関戸 新一郎(東京八王子 RC)

2008年6月5日 逝去(享年85歳)

1965年1月 東京八王子 RC 入会

1971-72年度 クラブ幹事

1975-76年度 地区大会実行副委員長・大会司会

ポール・ハリス・フェロー



赤堀 俊英(東京山の手 RC)

2008年6月9日 逝去(享年60歳)

1996年6月27日 東京山の手 RC 入会

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者



七條 達一(東京日本橋東 RC)

2008年6月10日 逝去(享年90歳)

1969年10月30日 東京日本橋東 RC 入会

(チャーターメンバー)

1982-83年度 第14代クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー(3回)

米山功労者(6回)

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (5月分) ★  
District 2750 Membership Attendance Report May 2008

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			
				07年7月1日	08年5月末	増減					07年7月1日	08年5月末	増減	
千代田グループ	東京南	5	75.06	183	183	0	多摩南グループ	東京八王子	4	85.56	62	63	1	
	東京芝	4	89.00	94	99	5		東京町田	4	70.38	64	64	0	
	東京新橋	3	74.57	56	56	0		東京日野	4	80.00	45	48	3	
	東京赤坂	4	74.40	52	56	4		東京八王子西	4	82.35	70	70	0	
	東京みなと	3	82.18	55	59	4		東京町田・中	3	79.39	42	42	0	
	東京レインボー	3	81.25	51	51	0		東京八王子東	3	84.00	30	30	0	
	東京麻布	4	70.50	27	23	-4		東京八王子南	3	88.89	55	57	2	
	銀座・日本橋グループ	東京銀座	4	76.12	163	170		7	東京町田サルビア	4	95.65	28	27	-1
		東京日本橋	3	84.26	161	179		18	東京飛火野	3	83.84	31	33	2
		東京築地	3	84.22	78	74		-4	東京町田東	4	70.16	31	34	3
東京日本橋東		3	84.52	59	57	-2	東京八王子北	4	68.79	34	35	1		
東京中央		5	80.59	210	240	30	東京立川	4	95.35	87	89	2		
東京日本橋西		4	85.47	51	50	-1	東京小金井	4	98.60	44	41	-3		
東京銀座新		4	79.91	75	77	2	東京国分寺	3	94.67	54	57	3		
東京シティ日本橋		4	74.46	51	50	-1	東京三鷹	3	87.90	44	47	3		
東京中央新		3	56.80	38	43	5	東京昭島	4	76.74	50	53	3		
東京羽田		4	81.94	42	46	4	東京国立	4	97.60	56	56	0		
京浜グループ	東京品川	5	86.63	65	68	3	東京立川こぶし	3	90.14	85	88	3		
	東京大森	4	90.77	52	53	1	東京井の頭	4	76.00	27	25	-2		
	東京荏原	4	68.45	48	47	-1	東京昭島中央	3	80.00	33	31	-2		
	東京大井	3	78.30	20	20	0	東京武蔵国分寺	3	91.52	53	60	7		
	東京田園調布	4	96.07	48	46	-2	東京小金井さくら	4	78.13	24	26	2		
	東京港南	4	70.24	23	21	-2	東京国立白うめ	3	86.66	28	28	0		
	東京大崎	5	92.05	38	38	0	東京府中	4	75.40	65	68	3		
	東京蒲田	3	90.37	58	61	3	東京調布	3	82.60	69	69	0		
	東京京浜	2	80.15	23	23	0	東京多摩	3	78.20	28	27	-1		
	東京荏原かめりあ	4	71.43	14	14	0	東京狛江	4	90.00	37	34	-3		
山の手東グループ	東京田園調布緑	3	90.48	25	24	-1	東京稲城	4	80.00	37	35	-2		
	東京マリーン	3	83.12	17	18	1	東京武蔵府中	4	77.18	54	56	2		
	東京白金	3	86.70	31	35	4	東京たまがわ	4	69.29	28	30	2		
	東京高輪	2	74.00	26	28	2	東京多摩グリーン	2	77.94	31	35	4		
	東京城西	4	78.25	160	162	2	東京調布むらさき	4	81.86	77	80	3		
	東京城西	3	83.60	81	78	-3	Guam	5	55.31	57	63	6		
	東京西南	3	83.87	60	62	2	Saipan	4	71.00	39	49	10		
	東京原宿	3	74.75	32	33	1	Tumon Bay	4	44.85	95	98	3		
	東京杉並	4	78.66	52	47	-5	Northern Guam	3	54.00	38	35	-3		
	東京神宮	3	71.64	43	43	0	Pohnpei	4	65.00	20	24	4		
山の手西グループ	東京恵比寿	3	72.75	94	100	6	Palau	4	42.00	24	25	1		
	東京広尾	3	63.54	34	33	-1	Guam-Sunrise	4	87.64	35	36	1		
	東京渋谷	3	75.30	44	49	5	Truk Lagoon	4	50.00	7	9	2		
	東京六本木	3	75.00	48	52	4	国内83クラブ計			4,530	4,661	131		
	東京世田谷	1	93.02	53	53	0	地区91クラブ計			4,845	5,000	155		
	東京目黒	4	75.30	47	47	0	千代田グループ	78.14	多摩南グループ	80.82				
	東京成城	3	82.05	27	26	-1	銀座・日本橋グループ	78.48	多摩中グループ	87.78				
	東京世田谷南	3	81.00	90	93	3	京浜グループ	82.71	多摩東グループ	79.16				
	東京城南	2	52.00	34	32	-2	山の手東グループ	75.74	PBグループ	58.73				
	東京山の手	4	73.29	74	74	0	山の手西グループ	76.67	平均出席率	78.49				
東京成城新	3	79.79	39	43	4									
東京青山	3	73.10	34	34	0									
東京自由が丘	4	81.57	21	21	0									
東京世田谷中央	3	75.56	26	32	6									

編集後記

※クラブの紹介については(ホームページ上の)、諸事情により作業が遅れており、7月15日をメドに完了させる予定です。

新藤年度のガバナー月信は、ガバナーより PETS・地区協議会でお知らせ致しました様に、ガバナーメッセージとそれに関連した記事のみとなります。各クラブには会長・幹事、事務局のみに發送致します。クラブの会長は、ガバナーのメッセージを理解されて、各会員にお伝え下さい。

その他の地区の活動については、ガバナー月信とともにホームページに詳しく記載致しますので、一年間是非、地区のホームページを開いて下さい。

ガバナー月信・ホームページをより充実させるため一層努力を致しますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

2008-09年度ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊(東京町田サルビア RC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三  
竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当)：河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>